

新潟大学長選で大揺れ

3教授、役職辞任

新潟大学の学長選で長谷川彰学長(68)が再任(任期

2年)されたことに抗議し、学長選で敗れた2人を含む教授3人が13日、役職を辞任することを明らかにした。役職を辞任するのは、山本正治・医歯学系長(62)、鈴木佳秀・人文社会

教育科学系長(61)、山下威士・大学院実務法学研究科

長(64)の3教授。学長選には長谷川、山本、鈴木

の3氏が立候補し、看護師ら対象の第1次意向投票では長谷川氏がトップだったが、教授ら対象の第2次意向投票では山本氏が有効投票の過半数の443票を獲得した。学内の理事らで構成される学長選考会議は昨年12月、長谷川氏の再任を決定。選考過程については「公表した場合に起こる混乱の方が大きい」として明らかにしなかった。

と、長谷川学長の再任撤回を求めた。国立大学法人法では、学長選考会議が最終決定するよう定めているが、ほとんどの大学は投票結果を重視する。しかし、滋賀医科大学ではトップ得票者が落選し、国や大学側を相手取り、裁判所に決定取り消しを求める訴えを起こしている。

長谷川学長は「新しい大学作りの必要性を説明しながら、一步一步やっていくしかない」と話している。